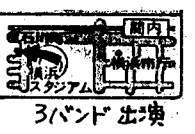
BIG BAD CAT

Vol. 5
1988. JANUARY

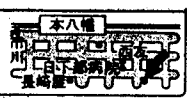
1/11(月) 関内「セブンス アベニュー」
☎045(641)2484
南口5分、横浜スタジアム1塁側そば


OPEN 6:00　3バンド出演
(前売)¥1800-　(当日)¥2000-

1/21(木) 四谷「フォーバレー」
☎03(355)3026
四谷方向4分、ホンダショールームB1

OPEN 6:30
¥1600-

2/18(木) 四谷「フォーバレー」
¥1600-

2/28(土) 本八幡「ROUTE 14」
☎0473(78)8897
南口3分、西友裏、水上ビル2F


OPEN 6:30
¥1800-

RECORDING NOW

自主制作のレコード 17cm EP
そんじょそこらじゃ売ってない。1000円だぜ。
3月21日 発売「ばかだもん」
他、3曲入

うおお・ズズ……!!

年末年始、39度の熱でブッ倒れっぱなしで、このままくるくるぱあになったらステキだと思った。TOUGH BOYのレコーディングから1年が過ぎた。思えば、ヤマハCM説がささやかれる中でTOUGH BOYを書き、多供ばんどといっしょに仕事をさせてもらったことがそもそもの事のはじまりのような気がする。この1年は、変化の年だった。こないだ夜中に、日名子、高垣、堀尾の三代から、「これからシューゲキに行ってもいいか」と酔っぱらい電話がかかってきた。それぞれ、本来あるべき場所にもどって、生き生きと、どーしよーもないのがうれしい。TOMCATが活動を始めて4ヶ月。自分達の中では確実に進歩が見られるものの、外から見れば、まだまだ潜伏中みたいなもんだ。今年は、TOMCAT CLUB以外の所へ、広くプロモーションをするべく、頭をなやませている。「夢」なんてへみたいなもんじゃなくて、花も実もある「プラン」を持っている。「自由」に対して負うべきリスクも大きい。ヤマハを離れた今、良い意味でも悪い意味でもしたたかにならなきゃね。　どーせなら、思いっきり計算高い策士として生き抜いてみたいものだが、そこはそれ、なにぶん、ただのばかなもんだからそっちこっちボロを出しつつ、周囲けに楽しくやっていけそうだ。オレはTOMCATを愛してる。座長もせーじも成もも大高もゲンちゃんもTOMCATを愛してる。言い切れるって誇らしいわねっつって、バンドに酔ってるばやいじゃない。年明けからすでに課題は山積み。財政は寒い！やんなきゃいけないことに追いまくられてる感もあるが、だいぶエンジンもあったまってきたところで、「ヘタな奴ほど"よく動け"」の鉄則どおり、今年はカッ飛ぶ。ライヴの動員数、目標達成するまで、歩行者天国や広場で人目にふれまくる。国をあけずに、シーズンごとに地方にも出たい。学祭に名乗りをあげる、年内にLPを出す。と、イロイロあるわけだが、さしあたって、上のレコード制作に全力投球だ。ライヴなあいかわらずガシガシやってく。アイデア練りつつ行きあたりばったりなのよねー。なにしろTOMCAT。コイツらとなら、なるようになる、とかまた何の根拠もないこと言ってるが、今年もどんな年になるのかじぇーんじぇん わかんなくてたのしみよ。

▲ TOMCAT FREAKのみんな。古いROCKを聞いているか？オイラはGreen Monster！ライヴの前じゃう拳を振り上げて、調子にのるとヘッドバンキングしてしまう。あの男だ。見憶えのあるヤツもいるだろう。ところで、今日は古いROCKのススメだ。熱いROCKを聞いて、今のオケち込み全盛の音楽業界をブッ飛ばそう。というワケで、B.B.C. Vol.3風に、オイラの10枚。MACHINE HEAD／ディープ・パープル、BLOW BY BLOW／ジェフ・ベック、SCHOOL OUT／アリス・クーパー、LIVE AT WINTER LAND／ジミー・ヘンドリクス・WHO'S LAST／ザ・フー、CLOSER TO HOME／グランド・ファンク・レイルロード、STEPPEN WOLF／ステッペン・ウルフ、BORN TO RUN／ブルース・スプリングスティーン、STILL LIFE／ローリング・ストーンズ、DIG THAT GROOVE BABY／トイ・ドールズ。中には古いというほど古くないアルバムもあるが、どれも熱いハートを聞かせてくれる。別に、この10枚やB.B.C. Vol.3の60枚に限らないが、そのあたりのROCKを聞くと、TOMCATのサウンドに落とされた影が見えてきたりする。とにかく、聞かずぎらいしないで、1回なの聞いてみよう！
神奈川県 横浜市「GREEN MONSTER」

T) バカタレ。BORN TO RUNは、ブルース・スプリングスティーンだ。そーいやこないだも、せーじのギターソロがスターズ・アンド・ストライプス(星条旗よ永遠なん)とか大ボケこいてたろ。ありゃ英国国歌だ。まあいい。しかし、オマエも人生踏みはずすぜぇ。三浪してれば、すでに踏みはずしてるとも言えるが、はずしっぱなしのいい例がここに6人もいるので、よーく見て考えるんだぞ。言うまでもなく、責任はとらないからな。オマエの肩にはトーサン、カーサンの期待がずっしりとかかっているんだぞと。ガハハ、ザマーミロ。あたいは長女だ。うっ！座長は長男？成もも～？きゃあ～、せーじはひとりっ子だって！知ーらない。

▲ この前、学校でTOMCATをばかにするボンクラがいました。俺がTOMCATファンだと知って、なんか言ってきました。はじめはだまってましたがだんだん自分がバカにされてるようで、短気な俺はやってしまいました。オレはケンシロウより強い！
福岡県ヨビカH市「LUCKY STRIKEを吸う男」

T) 出たなモリモトー。最初の手紙はえんぴつの下書き跡がイカシてたが、どうだ？手紙書くの慣れたか？コイツほんとレターがねーヤツでさ、去年、謹慎2回、家庭訪問4回、家裁呼び出し3回以上だって。ケケッ、がんばれよな。ひとりで楽しんでないで、そーゆーボンクラこっちにも回しておくれ。古い話だが、大井ふ頭の大乱闘で新聞にのっちゃった大バカヤローたちがなつかしい。そーか、オマエもツッパるのやめたかぁ。人を傷付けたことも、罪を犯したことも、不器用に自分も傷付いてチャラになんだよな。とか言いながら、おネエさんは今日もあいっぱいつっぱらかって生きています。コイツ、なんか好きなのよね。

さて、B.B.C. Vol.4・5に出てきた固有名詞。
TOMCAT CLUBの会員になった以上、「わかんなーい」とは言わせない。わかんなくてもとりあえず気にすることねぇぜ。実際、音楽にしたしむ心と、周辺の知識は別のものであるからな。頭でっかちのもの知りヤローよりは、ハートフルな君が大好きなのさっ。なんつって、じょーだんだぜ。とりあえず、ロックの最低限の知識は頭にたたっこんどもらうぜ、わかったか。(ど)

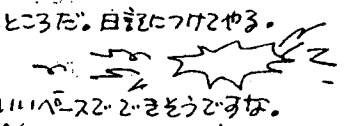
いーの、いーの、言わしときゃいーのよ。あたいだってトランスミッターがワイヤレスのことだって知んなかったもん。(T)

せーじとざちょーの WAH-WAH TALK

(ざ) おとそ気分の抜けないまま、はや3ヶ日もすぎた。しょくん！1ヶ月のごぶさたであった。などと言いつつこの原稿を書いているのは12月なかばだ。クリスマス前だ。まぁ、これも出版業界の非しい慣習というワケだな。などとつまんねえあいさつでお茶をにごしちまった。さて、今月号は会セ別スタート。おまけに新年号ということで、とにかくめでたい。さらに1月は自主制作盤のレコーディングもあって、またまためでたい。まるで正月のようなめでたさだ。めでたいついでにどさくさまぎれの新連載、せーじとオレ(ざちょー)の『WAH-WAH TALK』がはじまるぜ。

No1. おとそ気分でうらばなし

ざ) あけましてどーも。
せ) あけましたこーも。
ざ) いよいよ新連載もはじまったということで、第1回は「おとそ気分でうらばなし」だ。どーだ、こまったか。何か話をきりだしてみろよ。
せ) うーん。TOMCATも今年で足かけ4年だっけ？になるんだぜ。
ざ) 「なるんだぜ」ってオマエイキナリいばってるな。このヤロ。正直俺には覚えてないが、もう そんなになるんだな。早えーっちゃ早えーもんだ。せーじは「ふられ気分」がベスト10に登場したあたりに入ったんだよね。たしか。
せ) うん、そーそー。でも俺はベスト10には1回しか出てないんだよね。そのあとの「サマータイム グラフィティー」とかでよくTVに出た。
ざ) ベスト10は見てたぜ。おまえアップになったらヨ出してへラヘラしてたな。
せ) まーねー。でも俺だってざちょーがポプコン本選会に出たやつTVで見たぜ。ギターの音が途中まで出ないでやんの。
ざ) うるせーな、ありゃ俺のせいじゃねえぜ。トランスミッターのスイッチが入ってなくてよー、ローディーのせいだ。音が出なかったのは再演の時だったからよかったけどな。めちゃんこあせったぜ。
せ) それはそーとさ、ポプコン以前のTOMCATって、どんなだった？
ざ) 知らねえー(笑)。まっちょめ(TOM)が作ったデモテープが、ポプコンテープしんさに通ったってんで、急きょ呼び出されたってワケ。
せ) 優勝したときってやっぱうれしかった？
ざ) まーね。おたち台に立って、トロフィーかついで、記者会見の会場につれてかれるまではね。
T) かハハハハハ…(笑)
せ) なんだよ急に…。えー、それってどーゆーこと？
ざ) もう、まいあがっちゃって頭がボーっとしてるのに、いろいろシビアなこと聞き出すんだよね、記者って。あたりまえだけどな。「この先、どーゆー活動をなさっていかんですか？」とかさ。知らねえーっつうの。(笑)
本選会じゃハジかけねえなって、それしか考えてなかったのさ、いっきにシラケちゃったんだよね。よーするにてめえのアホさを思い知らされたみたいな、いやな場だったよ。
T) ハッタリだけで残ってたそくせきバンドだもん。(笑)
ざ) そーだよな。ただのバカだもんってか。(笑)
それはそーと、これはせーじと俺のお話の場だぜ。じゃますんじゃねえー。
T) FUCK!!
せ) で、結局、歌謡祭までやっちゃったんだよね。そのあとなんでやめちゃったの？
ざ) 政治的理由さっ(笑)。あのままのカタチでデビューするのは世間がゆるさなかったワケ。実際、"バンド"ってえ感じじゃなかったんだよね。そこまでまとまってなかったんだ。
せ) ふーん。
ざ) ま、歌謡祭までが第1期TOMCATってワケだよね。そんで第2期TOMCATにせーじがかわったってことだな。
せ) うん。最初は4人組だったTOMCATに、俺とあとキーボードが入ったんだ。
ざ) ポップスターしてた頃だよな。このヤロー、TVもけっこう出まくってたしな、あの頃は。ベスト10とか夜ヒットとかに出てみて どんな感じだった？
せ) どんな感じもなにもさー、こないだのS.B.C.にも書いたけど、いきなりTOMから電話があってさぁ、入ったわけじゃん。ただのアマチュア美大生ギタリストが、いきなり芸能人の中にほっぽりこまれて、TVカメラに向かってギターなんか弾いちゃってさー、とにかく、見るもの聞くものみんなはじめてだったから、すごい変な感じだったよ。でも、やっぱキョンキョンはかわいかったぜー。
ざ) 変なかんじとか言いながら、けっこういい思いもしてんじゃねーか。何か自分の世界とかな変わった？
せ) べつに。今を見ればわかるでしょ(笑)
ざ) そりゃそうだ。そんなんでまいあがっちまうほど、おりこうさんじゃねえってか。(笑)
せ) やっぱTVとか出てちやほやされてたけどさー、今と比べたら、やっぱりバンドとは呼べなかった気がするしね。あーゆー行きかたってのも不器用にあるけど、あんまし性に合ってなかったんじゃないかな。
ざ) またまた えらそーなこと言ってんなコイツ。まじな人生相談の場じゃねえぜ。
せ) そーいやざちょーもえりそーにしてんじゃんかー。
ざ) 何だよ。ヴァン・ヘイレン、コピーできっからっていい気になるなよな。
せ) なんだとー。自分だってランディー・ローズのコピーばかりして、結局できなかったくせしやがって。
ざ) おこった!! てめーヒはコンビかいしょーだ！やめてやるぜ!!
せ) おー、のぞむところだ。日記につけてやる。



ざ) いやー、けっこういいベースでできそうですな。
せ) いやいやー、今年もたのしくいきましょう。

BBC豆単

ストラト：ストラトキャスター。エレキギターにも、ゴマンと種類があるわけで、その中でも、フェンダー社のストラトキャスターは、1954年(?)にレオフェンダー氏の手によってこの世に登場して以来、ベストセラーをつづけているヒットもメジャーな機種。主な使用ミュージシャンは、古くはジミ・ヘンドリクス、リッチー・ブラックモア、ジェフ・ベック、エリック・クラプトンetc.最近では、U2のジ・エッジ、イングウェイ・マルムスティーン、TOMCATのざちょー、スティーヴィー・レイボーンetc.あんまり多くて書ききれないわけだ。よーするに名器なワケです。

マーシャル：マーシャルの音がするアンプ。アンプにもゴマンと種類があるわけで……ええい、めんどうだ！MTVのロックバンドを見てごらんなさい。(特にハードロック、ヘビメタ)キンキラキンのにいちゃんたちのうしろにそびえ立つアンプの群れ！それがたいていマーシャルなのだ。つまり、名器なワケです。

ミニ・ムーグ：ムーグ社のモノフォニック(単音)シンセサイザー。いわゆるシンセサイザーの草わけです。よって、今のデジタルだFMだとうたった、べんりなシンセとは別世界の、存在感のある音が出ます。主な使用ミュージシャンは、キース・エマーソン、リック・ウェイクマンその他多数。当然、うんこな現在は製造されているわきゃない。いわゆる名器なワケです。

ハモンド：ハモンドオルガン。ハモンド社(どこにあるの？)のオルガン。ハモンドの音がするオルガン。もういい、昔のディープ・パープルや、ユーライア・ヒープ、グランド・ファンクのレコードを聞けば、どんな音だかよーくわかるように弾いてくれてます。レスリースピーカーってって、ハコの中でホーンがブンブンぶん回るスピーカーと組み合わせて、親のかたきみたいにひずませて鳴らすのがマル。ちゃんと、注けそーに美しい音もするのよ。上記のうつと同様に、断固として使い手を選ぶ、自己主張の強い、あたたかい楽器のひとつ。したがって、名器なワケです。

トランスミッター：あーら不思議、コードがないのに音が出る！というワイヤレスシステムだ。これさえあれば、たとえ火の中、水の中、ビニにかっとぼうが、ちゃんとアンプから音が出るというすぐれもんだ。うちのギタリストどもからひとこと…「欲しいぜ」

ローディー：えんの下のちからもち。うらかたさん。楽器や機材を運んだり組み立てたり、ステージ中も、何かトラブルがあるとすっとんで来てくれるおにいさん。リハーサルつくせりで、何かとお世話になりましたが、現在のTOMCATの場合、全員、うたっておどれるローディーともいえましょう。

コピー：コピーってわかるよねぇー。ざちょーがコピーもぜったいかっこねえぜってうるさいんだけど、どーでしょう？よーするに、レコードやテープからいっちょーけんめい音をひろって、まねして弾くこと。楽器小僧は、むずかしい曲ほど熱くなって完コピ(寸分たがわず"同なじに弾く)したがります。でもって結局いじけます。

オケち込み：あーら不思議、人がいないのに音が出る！というコンピューターを使った演奏。歌謡曲やポップスのレコードなどがコレでリズム録り(ドラム・ベースのレコーディング)されている。ロック界もポップより人はそう。今はすごく機械が進歩して、わざとリズムをよれさせたり、ビみょうにズレさせたりといった人間くさいワザができるので気味がわるい。ちなみに、私の友人の中にさえ、「TOUGH BOY」のドラムが機械だと見ぬいた奴はいなかった。

ヘッドバンキング：ヘビメタのライヴに行くと客席のみんながしてるやつ。ちかごろは単にコブシを振り回すだけのヤツが多いが、頭もいっしょに上下させて、髪をふりみだして目まいを起こすのが正しい。スラッシュメタルの場合はあまりにテンポが速すぎて頭の重さがついて行けないので、顔のななめ上で2本指をつき出し、ちょうど野菜のせんキリをするように小刻みにけいれんさせるだけでよい。あとで気持ちが悪くなったりムチ打ちになったりするので、あまりおススメできない。

TOMCAT CLUB
〒197 東京都福生市熊川1123 P-3